

○令和7年6月5日 環境建設委員会の第1回現地視察を行いました。

県議会の各委員会では、閉会中の委員会活動として、毎年テーマを定めて現地視察を行い、関係者から御意見等を伺っております。

環境建設委員会では、今年度のテーマを「かがわの里海づくりについて」「道路・都市計画行政について」と定めており、今回3カ所の現地視察を行いました。

まず、観音寺スマートＩＣ（観音寺市古川町 ほか）の工事現場を訪問し、観音寺市中心市街地からのアクセス性向上により地域活性化につながる、本線直結型スマートＩＣの事業進捗について説明を受け、質疑を行った後、現場の視察を行いました。



次に、県道観音寺善通寺線（笠田竹田工区）（三豊市豊中町）の工事現場を訪問し、学校再編により整備されることとなった豊中小学校（仮称）の開校にあわせて実施している、歩道整備事業について説明を受け、質疑を行った後、現場の視察を行いました。



最後に、父母ヶ浜（三豊市仁尾町）で長年清掃活動を行っている「ちちぶの会」を訪問し、現場の視察を行った後、毎月1回実施している清掃活動の内容や活動に対する思い、また、一般社団法人三豊市観光交流局とともに行っている父母ヶ浜の持続可能な取組について説明を受け、質疑を行いました。

